

EPAハノイ便り

11月号

平成29年11月30日

ARCベトナム校発行

もうすぐEPA第5陣研修も修了を迎えようとしています。最終号となるハノイ便りでは、この1年間休まずに新聞を作り続けた新聞部員9人全員の振り返りを記事にしました。

「果実を食べたら木を植えた人に感謝する」

部長 ドアン・チュ



時間が経つにつれて、人間は誰でもだんだん変わります。私もそうです。EPAに入ってから、あつという間にもうすぐ一年が経ちます。そして、自分ほかなり変わってきました。EPAに参加する前に、習慣や時間管理が乱れていました。自分の計画さえ立てられませんでした。きちんと勉強できませんでした。しかし、EPAに参加したら、全部変わってきました。日常活動が規則正しくなってきました。自分の計画も立てられるようになりました。それは見える成長です。研修所での生活では習慣のみならず、性格も日本語のレベルも変わってきました。研修所で暮らすのをきっかけにして、日本についてのいろんなことを知るようになりました。日本人と接するチャンスがあり、日本人の考えが分かるようになって、立場もすっかり考えられるようになりました。そして、新聞を書いたことです。それによって、いろいろなことを学びました。何よりも、アークアカデミーの先生方から熱心に日本語と日本についてのことを教えていただきました。そして、もうすぐ日本で新しい生活を体験します。今までの成功はアークアカデミーの

先生方のおかげです。先生方を抜きにして、何も語れません。ありがたいと思っています。先生方の期待に応じるために一生懸命がんばり抜こうと思っています。最後に、この機会を作ってください。日本政府とベトナム政府、そしてEPAの先生方の全体に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

「幸せに成長するためにチャレンジします。日本、待っていてくださいね」

ドー・ティ・ハン



今の私は25歳で、生き生きして夢を持っています。EPAに参加してから、私はいろいろなことが変わりました。

前は、他の若い人と同じく、夜は遅くまで勉強や仕事のため、朝にはだいたい遅く起きていました(特に休みの日です)。でも、EPAに参加したら、朝は早く起きなければならぬので、毎日早く起きているうちに朝早く起きるのが好きになりました。早朝に起きるたびに、朝焼けを見て、候補者たちといっしょにラジオ体操をします。それは新しい日の楽しみです。それから一日のやる気がたくさん出ます。

EPAのおかげで、すばらしい先生たちに習って、N3に合格できました。本当にうれしかったです。日本語を勉強し始めたときはすごく難しく、N3を取るために、2、3年ぐらいかかると思いましたが、EPAの先生たちに教えていただき、どんな難しいことでも計画を立ててちゃんとやれば、きつとできて、時間もそんなにかからないことがわかりました。今はN2を勉強していて、N3に比べていっそう難しいですが、日本で年寄りにうまく話せて、お年寄りの幸せな顔を見るのと思うとやる気がたっぷりあるようになります。

EPAに参加できて、本当によかったです。得がたい経験が学べました。初めてゆかたを着て、日本の歌を習って、それから初めて新聞記事を書きました。こんな新

しいことをやって、一年前に比べて、もっと成長したと思っています。

来年、日本へ行ったらたくさんチャレンジして、もっと成長したいです。だから、今一生懸命がんばります(日本で、待っていてくださいね)。

「二〇一七年の私」

グエン・ティ・キエウ・オアイン



EPAに参加して以来、一年間研修所で日本語を勉強しています。他人にはどうか分かりませんが、私にとってはその時間は本当に速いと感じました。私が初めて研修所に足を踏み入れたときは、いろいろなこ

とが分かりませんでした。たとえば、寮や友達やルールなどが全然前の生活とちがいました。初めて、部屋に8人といっしょに住みました。でも、姉妹のようなみんながいつも手強い、助け、お互いをサポートしていました。私はいっしょに食事をし、いっしょに学び、いっしょに勉強しました。これは私にとって幸せな時間でした。また国のさまざまな地域の多くの人と友達になれました。とても楽しかったです。おそらく、卒業後にはたくさんある思い出を忘れられないかもしれません。

EPAに参加する前に、フエで一年間日本語を勉強しましたが、まだ上手にできませんでした。今は前より日本語力がだんだん進歩してきました。会話はもちろん、聞き取りと読解もよくできました。特別、漢字は前より今のほうが好きになりました。漢字が苦手だった前に比べて、今たくさん漢字が書け、読め、覚えることができます。そして、日本人と話すことができます。

これらすべてことは、私にとっては大きな変化でした。また、社会文化の授業を通じて、日本の知識も学びました。とてもすばらしかったです。その上、日本人の働き方とか日本人の時間の管理の仕方を学ぶことはとても役に立ちます。

EPAに関わることは、私にとって大きなチャンスだ

と思いました。そこで私は、面白い、新しいことをたくさん経験しました。それだけでなく、究極の目標を達成するために最後までがんばりました。コースが修了する今、私はより成熟したように感じました。将来の夢もより明確になっていきます。そして、今から日本語は私の人生の一部です。

「私の考え」

ファムティ・トゥー

E P A に入ってからもうすぐ一年になります。友達と先生といっしょに日本語を勉強して楽しいときも寂しいときもありました。

入学式のとき、E P A の先生達が自己紹介してくださいました。日



本人の先生がたくさんいて、びっくりしました。日本人の先生を見ると、「日本人の先生はどんな人ですか。厳しそうですね」と頭に浮かびました。友達に「日本人は厳しくて、いつも怖い顔で感情を抑制して、何を考えているか全然分からない」と聞きました。私はちょっと怖くて心配でした。しかし、初めての日本人の先生の授業はとても楽しかったです。先生はいつも笑顔で話して、詳しく説明していました。私は前の心配がなくなりました。

三か月ぐらい勉強して、大きいテストがあつて、クラスを替えなければなりません。友達と先生に慣れたばかりですが、新しいクラスに入って、また新しい友達と先生に慣れなければなりません。クラスを替えるたびに嫌な気持ちになりました。「なんでクラス替えをするか、そのままにしたほうがいいんじゃないか」と思いました。しかし、時間が経って、いろいろなことを思いつきました。新しいクラスに入って、新しい友達ができました。たくさん先生の友達と話しました。いろいろなことを教えてもらいました。

日本語はとても難しいです。毎日、宿題やら予習やら復習やら、いろいろなことをやらなければなりません。

ときどき、疲れました。疲れすぎて、勉強中寝てしまいました。翌朝、先生のテストができませんでした。先生に怒られてしまいました。そのとき、勉強を諦めたいくらい寂しかったです。カウンセリングで先生と話しました。先生は「がっかりするな！あなたならできるよ。がんばって」とアドバイスをしてくれました。先生に励まされて、元気になりました。先生達のおかげで、私は今日のようにになりました。

フリートーキングのとき、先生達といろいろなことを話しました。とても楽しかったです。しかし、時間があまりありませんから、あまり話しませんでした。

一年経って、いろいろなことを教えてもらいました。たくさん友達ができました。たくさん先生の経験を積みま

「一年を振り返って」

ファムティ・トゥー・ホアイ



E P A の研修所に入ってから11か月ぐらいがあつたという間に経ちます。E P A に参加したばかりのころに比べて、自分が成長したと感じます。以前、私はもともと自信を持っていない人でしたが、E P A に

参加したおかげで、自信を持ってたくさん人の前で発表できるようになりました。そして、E P A の研修所で日本語を学ぶだけでなく、日本語を通じて、文化、生活、ルールといった、日本についてのいろいろなことが分かるようになりました。これは私にとって、日本で働くのにとっても役に立ちます。それだけでなく、E P A に参加して、日本人に対する考え方が変わりました。私は日本人が冷たい人だと思いましたが、日本人の先生達が日本語を熱心に教えてくださったところ、そういう考えがなくなりました。または、私が何か失敗したとき、いつも先生がやさしく励まして、アドバイスをしてくれました。私にとつてありがたいと感じています。

もうすぐN2・N3の試験が近いですが、先生達の期待に応えて、みなさん、いっしょにがんばりましょう。

「E P A に参加して」

ホー・キム・オアイン

私は安定した仕事のためにE P A に参加しました。E P A に参加したのをきっかけにして、日本に興味を持つようになりました。

E P A ではいろいろなことを教えていただきました。日本語だけ



はなく、日本文化も勉強しました。先生達のおかげで日本文化の授業は面白くて、覚えやすくなりました。初めてゆかたを着たのはとても楽しかったです。先生が着方を教えてくださったのに、私たちはなかなか着られませんでした。特にゆかたの後ろのリボンが結ぶことです。難しかったのに、だんだんきれいにリボンが結べるようになりました。さらに、遠藤先生の書道の授業も役に立ちました。きれいに書道ができるように、正しい姿勢で書かなければなりません。その日には「徳」という漢字を書きました。「徳」の漢字は書きやすかったです、きれいに書くのはあまり簡単じゃありません。私は何回も練習しました。その結果、友達だけではなく先生もほめてくれてうれしかったです。

E P A に参加する前に、E P A の生活を心配しました。E P A はどんなところかな、日本人はやさしいかな、友達は愛想がいいかな……、いろいろな疑問がありました。しかし、一週間が経つたとき、ほっとしました。友達も先生も親切な人だから。日本語は言葉がたくさんあるし、文法も難しいし、それで日本語を諦めるかどうか考えました。ストレスが溜まって、勉強にやる気が出ませんでした。しかし、E P A の生活に慣れた後で、気持ちがよくくなりました。E P A はいい勉強環境だと思えます。無料で日本語を勉強できるし、日本で働くチャンスがあるし、それに友達がたくさんできま

一年間E P A で日本語を勉強しています。楽しいことも嫌なこともあります。それのおかげで私は気が強

くなりました。今、一人で自分のことが解決できます。来年、日本で働くために、一生懸命勉強しなければなりません。

「絶対に忘れない体験」

リークアン・ファン



あつという間に一年が経ちました。あと20日で卒業することになっていきます。この一年間を振り返ると現在の自分がたくさん変わりました。EPAに参加する前に、周りの人に、だらしのない人だし、気が小さい人だといわれました。勉強も仕事もいかにげんにやっていた。大学生のとき、病気のふりをして授業をサボることがありました。仕事においては、ルールを守らないし大雑把ですから、いつも社長に叱られていました。でも、EPAに参加して以来、びつくりするほどたくさんの方が変わりました。

初めに、日本語がぜんぜん分からない新しい生活に慣れないし、ルールを守らなければならないものですか、ストレスでした。ときどき、日本人の先生と、あえて会話しました。そして、学校に友達がいませんから、分からないとき、誰かに質問ができません。本当にあきらめようと思ったことがあります。しかし、そのとき、先生達は私に、「がんばろう！あきらめないで」と励ましてくれました。だからこそ、私は自信を持って日本語を勉強し続けられました。ルールを守らないとき、先生に注意されました。それ以来、ルールを守って、違反しないようにしています。勉強においては、計画を立てた通りにやるようにしています。先生達に親切に教えてもらったおかげで、日本語が上手になって、自分が自律できるようになりました。EPAで日本語だけでなく、日本文化、日本人の働き方を勉強しました。本当に先生達に感謝しています。

「新聞部に参加したことで得た体験」

ポー・ティ・ホアン・アイン



EPAに参加してからあつという間に、もうすぐ研修が終わりです。EPAで勉強する間、たくさん得がたい経験ができました。特に新聞部に参加したことです。今まで新聞のような文章を書くチャンスがなかったです。ですから、最初はできるかどうかとても心配しました。だんだん慣れてきて、興味を持つようになりしました。

書くことは、日本語を修めるだけでなく、自分の意見を述べることができます。新聞にどんな内容を載せるか一人一人はどんな内容を担当するか、グループで話し合って決めますから、チームワークがよかつたら、簡単にできると思います。ときどき、なかなかテーマが決められないとか、グループの中で、みんなの意見がぶつかるときもありましたが、いっしょに相談して、意見を統一することができました。

介護士の仕事には、レポート、日記といった書くことが多いです。こちらで得た経験はとても役に立つと思います。今、一年を振り返って、たくさんいい思い出になりました。新聞部に参加したことを通じて、自分が成長したと感じます。

「一年間EPAで研修した感想」 ダム・ティ・ゴック



EPAに入ってから一年が経ちました。一年はとも速く過ぎたと思います。一年前、私はまだ面接の結果を待っていました。今はもうすぐ卒業します。

EPAでの一年間の研修では、多くのことを得ました。日本語で作文を書いたり、日本語で話したりできるようになりました。EPA研修所のルールのおかげで、私はもつとまじめになって成長しました。

ました。N2に合格するという年間の目標が達成できるように、毎週、毎月の計画を立てておこななければなりません。ですから、計画の重要性が分かりました。毎週の計画にしる毎月の計画にしる、達成したとき、うれしいと思いました。さらに、新しい友達をたくさん作って、皆で家族としていっしょに暮らし、お互いに手伝って、世話をしました。家族がそばにいないなくても、いつも友達が私のそばにいますから楽しいです。そして、熱心でもしる先生達に教えていただいたおかげで、もつと日本語が好きになって、上手になりました。先生達や友達とのピクニックやアウトドアアクティビティは楽しくて、皆で親しくなって、私は永遠に忘れることはできません。

ときどき、疲れて諦めたいときもありますが、先生から励ましを受けて、努力して勉強している候補者を見て、私は、もつと力を出してやりがいが出て、勉強し続けています。皆がそばにるのはよかつたと思います。私が一年前にEPAに参加するのを選ぶことにしたのは正しかつたと思います。私の夢は半分は達して、あと少しだけです。12月のJLPTのN2に合格するためにがんばって、日本へ働きに行つて、私の夢を実現するようになります。

あと数日で2017年第2回日本語能力試験が実施されます。候補者たちはこの試験に合格して初めて日本行きの手に入れることができます。全員が努力を重ねて日本語学習に取り組んできました。全員が力を出し切れるように、全員が笑顔で日本へいけることを願ってやみません。

あつと言う間の1年間でした。お読みになった方々も候補者たちの合格を願っていただければこれ以上の幸せはありません。どうぞよろしくお願ひいたします。